

水稻作況試験情報 【令和7年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月10日現在）

移植期以降、気温は平年より高く推移し、特に最高気温は非常に高く推移した。降水量はほとんどなかったが、7月2半旬に1日で平年並みに至る量の降雨があった。日照時間は、平年よりも多照であった。田植時の調査では、過去5か年平均に比べ、草丈は、コシヒカリは短く、ヒノヒカリ、おいでまいはやや短かった。田植20日後の調査では、過去5か年平均に比べ、いずれの品種も、草丈は短く、茎数は多く、主穂葉数は同等であった。

1. 作況試験の方法

- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月30日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5株/㎡（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

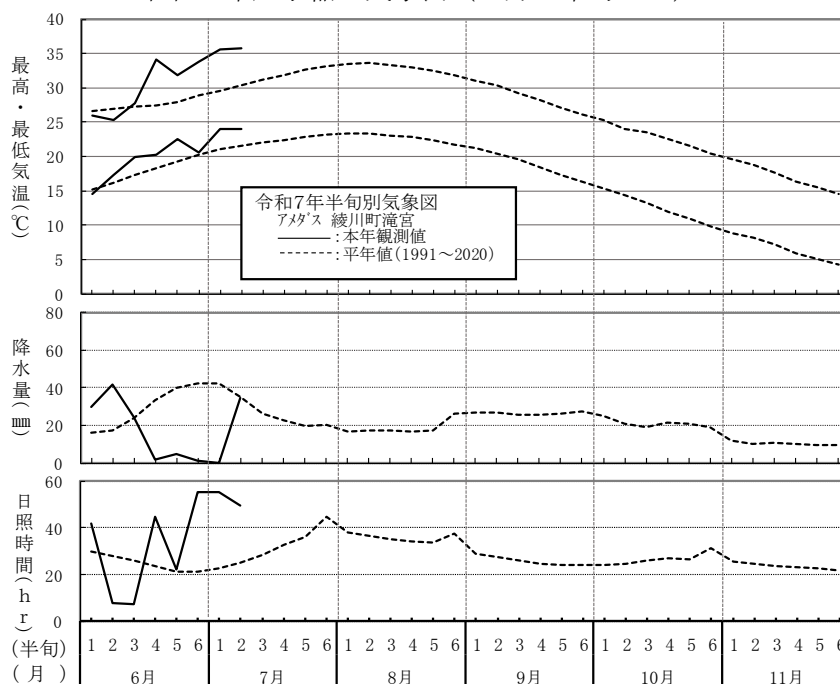
	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

6) 使用肥料：化成肥料（N：P₂O₅：K₂O＝14：10：12％）

7) 1区面積及び区制 1区250㎡（コシヒカリ500㎡）、2反復

2. 具体的データ

令和7年産水稻 気象表（7月2半旬まで）



令和7年産 水稻作況試験生育調査結果(7月10日現在)

調 査 (月／日)	供試品種 項 目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時	草丈(cm)	11.9	15.5	▲ 3.6	11.2	12.3	▲ 1.1	10.7	11.6	▲ 0.9
(6/20)	主稈葉数(枚)	2.4	2.5	▲ 0.1	2.7	2.6	0.1	2.8	2.6	0.2
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	34.2	39.6	▲ 5.4	25.8	31.3	▲ 5.5	28.6	32.4	▲ 3.8
	茎数(本/㎡)	315	240	31 %	382	288	33 %	406	324	25 %
	主稈葉数(枚)	7.4	7.4	0.0	7.6	7.5	0.1	7.7	7.7	0.0
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)									
	茎数(本/㎡)			%			%			%
	主稈葉数(枚)									
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)									
	茎数(本/㎡)			%			%			%
	主稈葉数(枚)									
播種期(月／日)		5/30	5/30	0	5/30	5/30	0	5/30	5/30	0
移植期(月／日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月／日)										
出穂期(月／日)										
主稈止葉葉位(枚)										
穂数(本/㎡)				%			%			%
稈長(cm)										
穂長(cm)										
成熟期(月／日)										

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。